地域の発展に貢献する港湾づくり

唐津港湾事務所長　辻　英明

新年あけましておめでとうございます。

皆様には平素より港湾行政の推進にご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

当事務所では、佐賀県北部の玄界灘に面した唐津港と伊万里港において地域経済の発展と住民生活の安心・安全を目的に港湾施設の整備を進めております。

唐津港では、港湾貨物の輸送効率化や増加しているクルーズ船の受入対応、大規模地震発生時の防災拠点としての対応も可能とする多機能な利用を想定したふ頭の整備を東港地区で進めております。平成28年3月末には水深9mの耐震岸壁が完成し、貨物船やクルーズ船の利用が始まっており、昨年4月の佐賀県初寄港を含む4隻の外国クルーズ船が寄港しています。今年は更に多くの寄港が予定され、地域の活性化につながるものと期待しているところです。

当事務所では、大型の船舶が安全に入出港できるよう、航路及び泊地の整備を引き続き進めてまいります。

伊万里港では、国際海上コンテナ輸送における西九州の拠点として、また、地域産業の国際競争力の強化・充実を図るため、七ツ島地区において国際物流ターミナルの整備を進めております。岸壁及び航路・泊地の整備は平成28年3月末に完了し、現在は、七ツ島地区へ出入りする港湾関連貨物等の円滑な流動を確保するため、国道204号へ新たに結節させる臨港道路七ツ島線の整備を進めており、本年も引き続き推進して参ります。

また、事業の実施にあたりましては、担い手不足などの建設業界の課題に対し、ICT浚渫工等の導入推進による生産性の向上や工事発注における働き方改革の取り組みなど担い手育成・確保につながる活動を建設業界の皆様と連携して進めていきたいと考えています。

本年も、港湾整備やみなとまちづくりを通じ、地域の発展に貢献するため、事務所職員一丸となって取り組んで参る所存でございます。皆様方にはなお一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

九州地方の更なる建設分野の生産性向上を目指して

九州技術事務所長　九州防災・火山技術センター副センター長
島本　卓三

新年明けましておめでとうございます。

平素より、国土交通行政の推進にご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、6月の大阪北部地震にはじまり、梅雨期の西日本一帯に被害をもたらした平成30年7月豪雨、9月に発生した北海道胆振東部地震など全国的に大災害が多く発生しました。九州においても、4月に発生した中津市耶馬渓の山腹崩壊、梅雨期の7月豪雨や台風による被害など多くの災害が発生しております。被災された方には心からお見舞い申し上げます。当事務所では、無人化施工機械や照明車等の災害対策用機械を現地に派遣して、災害復旧支援及び自治体支援を行いました。

さて、当事務所は、九州の建設分野の生産性向上を目指し、「防災技術力の充実強化」「建設技術の生産性向上」「人材育成の推進」を3つの柱として業務を推進しております。

「防災技術力の充実強化」においては、市販の重機を遠隔操縦できる装置（通称ロボQS）や無人化バックホウなどを中津市耶馬渓の山腹崩壊現場に派遣し、災害復旧支援にあたりました。また、市販の360度カメラにより被災状況を撮影、その映像をVR（仮想現実）技術で再現する取り組みを行い、災害対策本部において被災状況の全貌が把握出来るかを試みました。結果、実用化できる確証を得ることができ、今後整備局内で運用していく運びとなりました。火山防災分野においては、噴火時における立入禁止区域内での調査手法の検討やリアルタイムハザードマップの高速化等に引き続き取り組んで参ります。

「建設技術の生産性向上」においては、H30年の国土交通本省が掲げる建設現場の生産性革命「深化の年」のもと、ICT技術の活用促進による建設現場の生産性向上を目的として、AI（人工知能）技術によるダム操作の最適解の推定により「支援ツール」の構築について検討を行いました。今年も引き続きAI技術の実用化へ向け積極的に取り組んで参ります。無人化施工機械については、ロボQSのアタッチメント操作の改良や可搬式遠隔操縦室の配備により、更なる建設現場の生産性向上を目指して参ります。また、新技術・新工法については、登録受付・審査や関係者向けの説明会を充実し、九州における普及促進に取り組んで参ります。

「人材育成の推進」においては、無人化施工機械操縦者の育成を目的に無人化施工訓練に取り組んでおり、昨年は働き方改革実践コースを新設し、久留米・桜島をフィールドとして約620名に参加頂きました。また、昨年8月より橋梁実モデルによるメンテナンス研修にも取り組んでおり、これまでに約500名の受講生を受け入れております。今年は堤防の実モデルの製作を行い、更なるメンテナンス研修の充実に取り組んで参ります。

今後とも、九州地方の繁栄と安全・安心確保のため、九州技術事務所、九州防災・火山技術センターの責務を全うし、更なる事業の充実に努めて参りますので、皆様方の一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせて頂きます。

未来社会の建設
松尾一建工業 株式会社
代表取締役　松尾　公博
〒843-0002　佐賀県武雄市朝日町大字中野10405　TEL:0954-23-2155　FAX:0954-23-8872

ものづくり 街づくり 環境づくり　皆さまの夢をカタチに
株式会社 中野建設
代表取締役社長　中野　武志
本社　〒840-8588　佐賀市水ヶ江二丁目11-23

地域社会に貢献　輝く未来を創造する
電気工事・空調工事・防災工事・設計施工
株式会社 電興社
代表取締役社長　堤　雄亮
佐賀県佐賀市高木瀬西 6-11-4　TEL:0952-31-1811　FAX:0952-32-2623

nanri　クレーン作業 5t～200t　一般貨物運送2t～40t トレーラー　一般建設業・仮設工事　http://www.nanri-c.com
株式会社 ナンリ
HySPEED 天然砕石パイル工法
代表取締役　野中　淳一
本　社:〒845-0033　佐賀県小城市三日月町樋口917　TEL0952-73-2121　FAX0952-72-2555
福岡営業所:〒819-1572　福岡県糸島市末永422-3　TEL092-323-8488　FAX092-323-8489

交通情報・電気通信・電気工事（設計・施工・保守）
三球電機株式会社
代表取締役社長　笠原　建二
取締役佐賀支店長　古川　順一郎
本　社　東京都練馬区貫井５丁目２４－１８　☎03(3970)3911　FAX03(3577)6946
佐賀支店　佐賀市鍋島町大字八戸３１７４－１　☎0952(23)4139　FAX0952(23)6355

地域社会に快適な環境　循環型社会を創造
有限会社 谷田建設
営業品目
・建造物解体
・収集運搬
・中間処理
・建設汚泥リサイクル
・安定型最終処分場
本　社　〒840-0213 佐賀市大和町大字久留間3180-4
事業本部　〒845-0024 小城市三日月町道辺1432-3
TEL.0952-73-9955　FAX.0952-73-9956　URL. http://www.tanida-eco.co.jp/